

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		子どもフェスティバル実行委員会運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連					
総計 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明					
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名 渡辺紀子					
	基本事業	59	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線) 1504					
予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	1	事業連番	法令根拠	合志市子どもフェスティバル実行委員会規	成果優先度評価結果	12
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H14 年度)		期間限定複数年度 ( ~ 年度)		コスト削減優先度評価結果		6		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	子どもフェスティバルの企画会議や準備等の事務局として支援を行う。 平成14年度に旧合志町の子どもたちを対象に「子どもフェスティバル」が始められたことから開始された。 合併前は旧合志町の子どもが対象だったが、合併後旧西合志町の子どもたちも対象になり、数は倍増した。
【業務の流れ】	市内の小中学生により「子ども実行委員会」また、子どもの育成にたずさわる各種団体により「大人実行委員会」を組織し、子どもの企画会議でのアイデアを大人が支援しながら開催準備を行い、総合センター全館を使用して子ども劇団公演や各種体験活動の場を市内の子どもに提供する。
【主な予算費目】	一般会計：職員給(事務局相当分)、子どもフェスティバル実行委員会会計：(報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	年々参加者数が増加している。合併後3年目を向かえ、旧西合志町方面にも浸透してきている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
子どもフェスティバル実行委員会の開催 子どもフェスティバルの開催	子どもフェスティバル実行委員会の開催 子どもフェスティバルの開催
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア 子どもフェスティバル関係の活動行事数 回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市内の小中学生以下	⇒ ア 子どもの人口(4才~14才) 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
子どもの健やかな育成に寄与する。	⇒ ア 子どもフェスティバルに参加した子どもの数 人 ⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 子ども自身による事業企画を支援し、より多く楽しめた参加者数を設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	15	15	15	13	13	13	13
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	6500	6592	6592	6592	6600	6600	6600
	イ								
⑥ 成果指標	ア	人	1500	1785	2000	1800	2000	2000	2000
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	600	600	600	600	600	600	600
	(B)人件費計	千円	2,382	2,400	2,388	2,388	2,388	2,388	2,388
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,382	2,400	2,388	2,388	2,388	2,388	2,388

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

合志市

事務事業名	子どもフェスティバル実行委員会運営支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	既に一定の成果を挙げていると考えられる。	
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	他に類似事業がない。	
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	基本的に職員給のみであり、その業務負担を軽減することができれば従事時間を削減し、事業費を削ることもできる。	
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	前項目に同じ。	
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	広く全市の子どもたちに参加の機会があり、公平であると思われる。	
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	大人実行委員やPTA等各団体の協力も得て実施しており、適正である。	

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

例年以上に参加者数も増え、大きな怪我人もなく事業開催できた。本年度の反省箇所を踏まえ、次年度はより効率的に事業を運営したい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

### (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事業の進行方法を工夫し、それぞれの担当の負担を軽減するなど、今までの水準を保ちながら効率を上げること。